

平成 27 年度事業報告書

特定非営利活動法人友之会

◆ 活動の成果

平成 27 年度も引き続き法人認知度向上、協力者、賛同者および利用登録者の増加を目標にし、多くの方々に支えられながら継続的な活動を行いました。

高齢者に対して相談・依頼・困りごとの問題解決を図りながら、精神的、心理的支援に重点を置き取り組みました。利用者間同士のコミュニケーションを積極的に行った為地域を跨いで友人関係となり、電話でのやり取りが始まることにもなりました。

又、引き続き活動してきた高齢者の生活支援から生きがい支援へと移行させ、社会参加と活動場所を創造する事を目的とする「野菜の生産・販売を通じた生きがい支援事業」が、毎日新聞（神戸版・平成 27 年 12 月 2 日付）に掲載されました。

高齢者（生産者）からは野菜包装の工夫、レシピ、加工品などの提案もあり創造意欲を持つこととなり、それによって一次予防（引きこもり・認知症・介護）になり、健康維持、孤立防止に役立ちました。また就労、社会参加をすることによって、個人の生きがいに繋がったのは とても大きな成果となりました。

活動していく中で、連携していただく団体が増えたことにより、活動範囲も広がるとともに、また地域イベントに参加したり、新聞掲載等で多くの方に周知していただく事になりました。

◆ 事業内容

(1) 高齢者の自立及び社会参加支援事業

① 電話でのコミュニケーション（週 1～3 回）、訪問による直接会話（週 1 回）実施しました。楽しく明るく送る生活として、カラオケ、温泉、食事の企画、日常の不便を解消するために、通院、買い物の同行、必要品の訪問時買い届け等々を行いました。

② 高齢者（野菜生産者）の余剰野菜をコーディネートすることにより、販売者（障がい者施設）と地域住民との交流がスムーズにいく事が出来ました。
恒例の餅つきも行い、加工品（かきもち、黒豆ポン菓子 etc.）取り組みました。



▲恒例の餅つきの様子

(2) 野菜の生産・販売流通を通じた生きがい就労支援事業

登録利用者は就農経験が多い為、自己食料分として生産した余剰野菜を障がい者就労支援施設に提供し、それぞれ（高齢者・障がい者）の就労支援を行いました。

① 就労支援施設への野菜コーディネート

活動内容	活動月日
ひらめの家 野菜販売コーディネート	4/6、13、20、27 5/11、18、25 6/1、8、15 22、29 7/6、13、27 8/3、10、17、24、31 9/7、14、28 10/5、19、26、11/2、9、16、 30 12/7、14、21、28 1/18、25 2/1、8、 15、22、29 3/7、14、28
木の芽福祉会家族会支援	4/12 5/10 6/14 7/12 8/9 9/13 10/11 11/8 1/10 2/14 3/13



▲ひらめの家：地域住民の方の集まる様子①



▲野菜展示の様子



▲地域住民の方集まる様子②



▲地域住民の方集まる様子③



▲利用者手作りの宣伝ポスター

② 収穫体験コーディネイト（就労支援施設とのイベントコラボ）

杉原昭夫農園（枝豆収穫）	10/8
--------------	------



「収穫体験と販売を自らの手で！」というテーマで参加農家、施設職員、利用者、一般消費者と共に、枝豆、黒豆の収穫に取り組んだ。
1回の取り組みで、ボランティア 12名の参加となった。

③ 地域イベントの参加

会場	会合名	参加日
神戸市役所 2号館 1階	ショップ&ギャラリー 神戸ふれあい工房	4/13 5/11 6/8 7/13
		8/10 9/14 11/9 12/14
		2/8 3/14 1/1 2/9 3/9
神戸市立地域人材支援センター	ハートフェスタ 2015	10/24



▲神戸ふれあい工房：野菜の展示



▲野菜販売の様子



▲旬の野菜（ひのな等）を並べた様子



▲10/24 ハートフェスタ 2015 の様子



▲野菜の展示販売の様子

◆ 波及効果と新たなニーズ

就労継続支援事業B型 ひらめの家での継続的な野菜販売をすることによって消費者地域の障がい者への理解に繋がりました。

生産者も新しい野菜の栽培にチャレンジしたり、野菜の包装を工夫したり、創造意欲を持つことで生きがいに繋がり、健康維持に大いに役立ちました。

平成28年度は、あらたにNPO法人ライフ・ケア協会と連携することになりました。高齢者福祉、障がい者福祉に寄与できるよう努めて参ります。